

働く人の安心を支える、先進の安全機能。



ファミリアバンは全車「セーフティ・サポートカーS(ワイド)」です。

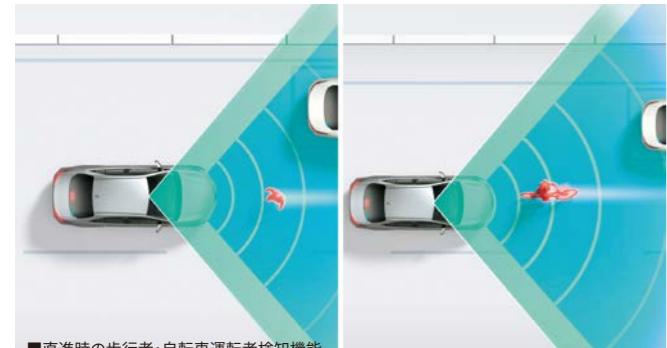
セーフティ・サポートカーS(ワイド)(サポカーS(ワイド))は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置など安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。

*安全運転を支援する装置は、あくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。

プリクラッシュセーフティシステム(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼夜]・自動二輪車[昼]検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー+単眼カメラ方式) 標準装備:全車

直進時の車両・歩行者検知機能

前方の車両や歩行者(昼夜)、自転車運転者(昼夜)、自動二輪車(昼)をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報ブザーとマルチインフォメーションディスプレイ表示で衝突の可能性を知らせ、ブレーキペダルを踏めた場合はプリクラッシュブレーキアシスト。ブレーキペダルを踏めなかった場合はプリクラッシュブレーキを作動させ、衝突回避または被害軽減をサポートします。プリクラッシュブレーキは歩行者や自転車運転者に対しては自車が約5~80km/hの速度域で作動し、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、車両や自動二輪車に対しては自車が約5km/h以上で作動し、衝突回避または被害軽減をサポートします。



■直進時の歩行者・自転車運転者検知機能



■直進時の自動二輪車検知機能

*道路状況、交差点の形状、車両状態および天候状態などによっては作動しない場合があります。また、衝突の可能性がなくともシステムが作動する場合もあります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。*プリクラッシュセーフティシステムはあくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。

*数値はトヨタ自動車株式会社による社内測定値。

「交差点」右折時の対向直進車・右左折時の横断歩行者・自転車運転者検知機能

交差点右折時に直進してくる対向車および右左折時に横断してくる歩行者や自転車運転者をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。交差点での検知は隣接2レーンまでの対向車に作動領域を拡大しています。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせると同時に、プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします。



■自車右折時、直進してくる対向車や対向二輪車を検知。



■自車右左折時、横断してきた歩行者や自転車運転者も検知。

*交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。*プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

緊急時操舵支援機能

歩行者、自転車運転者、車両、自動二輪車と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断した場合で、ドライバーの回避操舵があったとき、操舵支援を行い、車両安定性確保と車線逸脱抑制に寄与します。

*回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。

*横断歩行者など一定以上の速度を持った対象には作動しない場合があります。

「交差点」出会い頭時の車両・自動二輪車検知機能

交差点に進入する際、交差する車両や自動二輪車をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせると同時に、プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします。



*交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。*プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

低速時加速抑制機能

低速時の自車の直前にいる歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、エンジン(ハイブリッドシステム)出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

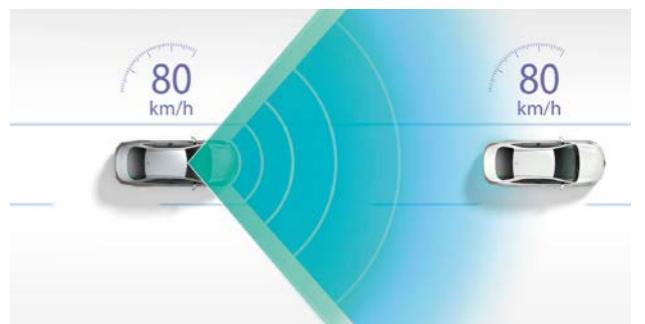


*本機能はパーキングサポートブレーキ(前後方静止物)の代替機能となるシステムではありません。

レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付/停止保持機能なし) 標準装備:全車

先行車追従機能

ミリ波レーダーと単眼カメラで先行車を認識し、車速に応じた車間距離を保ちながら追従走行を支援します。先行車が停止した時は自車も停止。停止後、システムを解除します。^{※1}



^{※1}:停止状態を継続するには、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。*車間距離制御は状況により限界があります。システムを過信せず、安全運転をお願いします。*設定速度は、制限速度、交通の流れ、路面環境、天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は運転者が行う必要があります。*道路状況、車両状態および天候状態などによっては、ご使用になれない場合があります。*高速道路や自動車専用道路でご使用ください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

4段階の車間距離設定

先行車との車間距離設定を4段階とし、より感覚にあった車間距離を実現します。

車線変更時の補助

レーダークルーズコントロール使用中にウインカー操作をした際、遅い先行車を追い越すための予備加速、または車線変更先にいる遅い先行車に追従するための予備減速を実施し、スムーズな追い越しや車線変更を行います。



先々行車検知

ミリ波レーダーおよび単眼カメラの検知範囲拡大などにより、前方認識範囲を拡大。停止・発進を繰り返すシーンで、先行車や先々行車の認識、進路判定、割り込み車などに対して、優れた認識性能を確保しています。

カーブ速度抑制機能

レーダークルーズコントロールで走行中、システムが前方のカーブを検知すると必要に応じて速度抑制を実施。より遠方のカーブまで検知して早期に減速を行います。

レーントレーシングアシスト(LTA) 標準装備:全車

車線維持支援機能

車線が見えにくい、または見えない場合も、先行車を追従してステアリング操作を支援します。カーブ走行性能の向上により、シーンに合わせて車線維持のトレース位置を変化させる制御を追加。例えば隣接車線の車両を追い抜いたり、路外の構造物との距離が近い場合などは、走路中央よりも回避側にトレース位置をオフセットします。

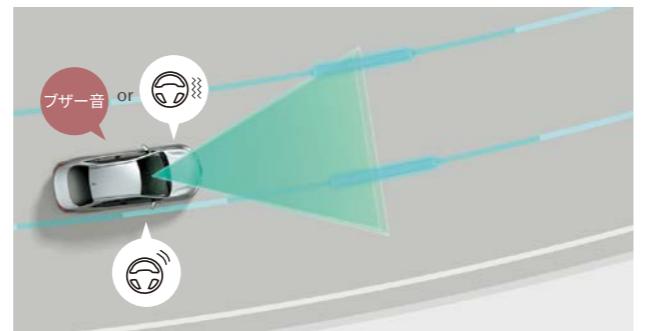


レーンディパーチャーラート(LDA)

車線から逸脱するおそれがある場合にディスプレイへの表示およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告とともに、車線からの逸脱を避けるためのステアリング操作を支援。標準装備:全車

車線逸脱警報機能 / 車線逸脱抑制機能

車線だけでなく、アスファルトと草・土などの境界や縁石、ガードレールなどの構造物も認識対象としてシステムが作動します。歩行者や駐車車両を避けるための意図的な車線逸脱と判断した場合は、車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能の作動を抑える機能を採用しました。



プロアクティブドライビングアシスト(PDA)

「歩行者の横断」「飛び出してくれるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行うことで、危険に近づきすぎないよう運転操作をサポートし、ドライバーの安心につなげます。標準装備:全車

歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する操舵・減速支援

リスクを先読みし、危険に近づきすぎないようにステアリング・ブレーキ操作をサポートします。

先行車に対する減速支援

先行車や隣接車の割り込みを検出した時、ドライバーのアクセルOFFに応じて、車間距離が近づきすぎないように緩やかに減速します。

カーブに対する減速支援

前方のカーブに対して自車の速度が速いと判定した場合、ドライバーのアクセルOFFに応じて緩やかに減速します。



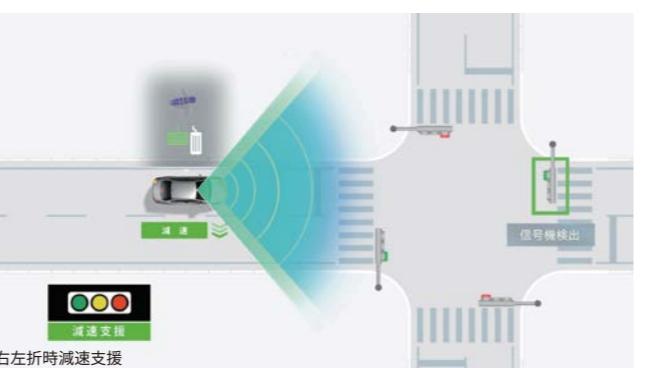
右左折時減速支援

信号交差点への接近を検出した時、ドライバーのアクセルOFF、ワインカー操作に応じてあらかじめ減速を支援し、右左折時の操作余裕を確保します。

車線内走行時常時操舵支援

ドライバーの操作を先読みして、ステアリングの反力を変化させることで、不要な操作の抑制や、操作遅れを防止し、スムーズな走行をサポートします。

*PDA:Proactive Driving Assist



オートマチックハイビーム(AHB)

ハイビームとロービームを自動で切り替え、夜間の歩行者などの早期発見をサポート。切り替え忘れを防ぐほか、手動操作の煩わしさも軽減します。標準装備:全車



*AHB:Automatic High Beam *自車速度約30km/h以上で作動します。*ハイビーム・ロービームの切替自動制御には、状況により限界があります。運転時には常に周囲の状況に注意し、必要に応じて手動で切り替えるなど、安全運転を心掛けてください。*道路状況、車両状態および天候状態などによっては、作動しない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

ロードサインアシスト(RSA)

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「一時停止」「転回禁止」の道路標識をマルチインフォメーションディスプレイに表示。また、「最高速度」「車両進入禁止」「赤信号」の道路標識や信号に従っていないとシステムが判断した場合、表示の反転や点滅、ブザーなどでドライバーに告知。それらにより、道路標識などの見落としを減らし、安全運転を促します。標準装備:全車



赤信号の告知機能

赤信号を認識している場合に、信号を見落として交差点に進入する可能性があるとシステムが判定したときには、ディスプレイの点滅表示やブザーにより注意を促します。

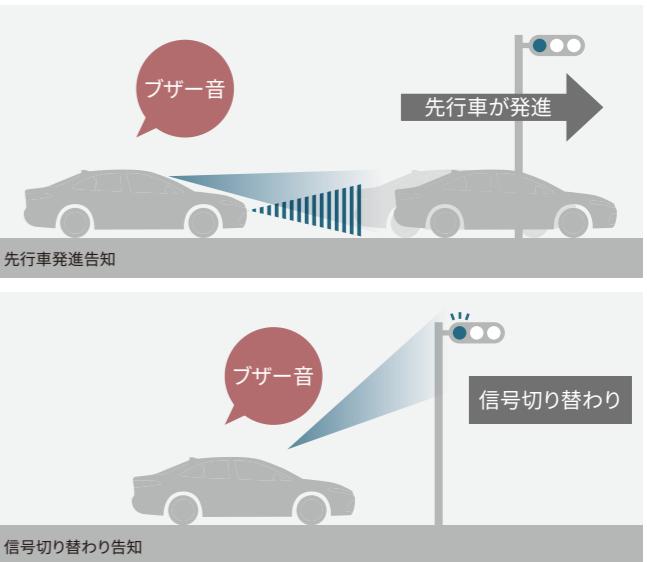
*RSA:Road Sign Assist *道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態などによっては、作動しない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

発進遅れ告知機能(TMN)

交差点で信号が赤から青に変わった時や、先行車発進時の「うっかり出遅れ」をブザー&マルチインフォメーションディスプレイ表示でお知らせします。標準装備:全車

信号切り替わり時の出遅れにも対応

先行車の発進をお知らせする従来の機能に加え、信号が赤から青に変わったときの「うっかり出遅れ」も表示とブザーでお知らせします。



*TMN:Traffic Movement Notification *右折矢印信号も検知可能です。*シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。*先行車が約4m以上進んでも自車が止まつたままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)

パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)はアクセルペダルの踏み間違いや踏みすぎなどで起こる衝突を緩和し、被害の軽減に寄与するシステム。車庫入れなどの運転時、静止物の接近を表示とブザーで知らせる「クリアランスソナー」に、静止物との接触を緩和する機能を追加。前後進行方向にある壁などの静止物を検知している場合、発進時にエンジン(ハイブリッドシステム)出力を抑制し、さらに距離が縮まるとき衝突被害軽減ブレーキが作動します。標準装備:全車



*パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)は衝突被害軽減ブレーキまで働くシステムではありませんが、必ず止まることを約束するものではありません。道路状況、車両状態および天候状態などによっては作動しない場合があります。また、衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合もあります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。*安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。*ソナーの検知範囲、作動速度には限界があります。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。*運転者自身でパーキングサポートブレーキ(前後方静止物)の衝突被害軽減ブレーキ制御を試すことはやめください。*パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)の衝突被害軽減ブレーキが作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。*光式ナンバープレートは装着できません。